

## 公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年2月28日

団体名 岡崎市地球温暖化防止隊

代表者 織田 重己

構成員 74 人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化防止活動の推進を図ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
4月20日 4月27日	岡崎市立梅園こども園・岡崎市立城北保育園・高年者センター岡崎	梅園こども園および城北保育園の児童、高年者センター岡崎の利用者ならびに周辺住民	103名	14名	「グリーンカーテン」の実施	植物の栽培を通じて多世代的な緑と人との交流を促進できた・緑陰による省エネとCO <sub>2</sub> 排出量の削減を図れた・ヒートアイランド対策や熱中症対策を図れた
8月17日	岡崎森林組合	イベントに参加した市民（小学生とその親）	20名	11名	「夏休み親子教室」の実施	地球温暖化の仕組みや原因、森林との関係について、間伐材を用いた木工教室を通じて親子で学習できた
9月（通年募集）	市内全域	市民	10名	3名	「環境フォトコンテスト」の実施	市内の自然環境に関する写真を広く募集し、環境の保全や地球温暖化対策等について考える機会を設けることができた
10月15日 2月18日	市内各所	市民	30名	7名	「ぶらつきよろりん（ウォーキングイベント）」の実施	自動車から排出されるCO <sub>2</sub> の削減について再考する・「歩くこと」による地域の魅力の再発見と再認識を図れた
11月19日	上地自動車学校	市民	10名	9名	「エコドライブコンテスト」の実施	エコドライブの普及および次世代自動車の展示を通じてエコな暮らしへの転換を図れた

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

## ■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

令和5年度に比べ、活動頻度の向上や新しい試み等に挑戦することができた。また、活動の内容や取組みを様々な媒体（広報誌、動画、HP等）を用いて幅広く周知できており、参加者からも地球温暖化防止に対する意識を感じることもできたため。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。